

今年もやります！北海道CONEミーティング！！キーワードは

北海道の自然体験活動を盛り上げる

北海道の自然体験活動指導者のスキルアップ

北海道の自然体験活動のネットワーキング

＜実行委員所属団体(50音順)＞
NPO法人あそベンチャースクール(札幌市),(財)おたる自然の村公社(小樽市),(社)ガールスカウト日本連盟北海道支部(札幌市),国立大雪青少年交流の家(美瑛町),NPO法人こども共育サポートセンター(札幌市),(財)札幌市公園緑化協会(札幌市),洞爺たからだ自然体験ハウス(洞爺湖町),NPO法人ねおす(札幌市),NPO法人登別自然活動支援組織モモンガくらぶ(登別市),北海道教育大学岩見沢校(岩見沢市)《2007年7月現在》

ピンと来たあなた、参加をお待ちしています！！

スケジュール

▽前日

前日から宿泊可能です。しかも、札幌、旭川から無料送迎バスが出ます！
本番開始に先駆けて、ネットワーク作りのチャンスです！

※夕食は各自でおとりの上、お集まりください

18:00 JR札幌駅北口発
18:45 岩見沢SA
20:15 旭川駅
21:30 大雪青少年交流の家

▽1日目

9:00 午前の受付開始

9:30～12:00 午前の分科会

★1.どんとこい！ふりかえり～ふりかえりネタを探そう～
能條歩（北海道教育大学岩見沢校）

★2.動物たちのこと、伝えよう～その1 動物を知ろう
鈴木利典（洞爺湖たからだ自然体験ハウス）

＜午前・午後通しの分科会＞

★3.アドベンチャーアクティビティーデザイン
田中住幸（NPO法人あそベンチャースクール）
ゲスト：山田亮（北翔大学生涯学習システム学部
健康プランニング学科講師）

★4.幼稚園や学校での環境教育♪
二杉寿志（(財)おたる自然の村公社）

12:00 午後の受付開始

13:00～16:00 午後の分科会

★5.授業にも生かそう！自然体験
能條歩（北海道教育大学岩見沢校）

★6.動物たちのこと、伝えよう～その2 生き方を伝えよう
鈴木利典（洞爺湖たからだ自然体験ハウス）

★7.自然学校とは何だ？自然学校で生きてゆけるか？
高木晴光（NPO法人ねおす）

★8.パウダースノーシューイング
片山貞実（国立大雪青少年交流の家）

★9.ものづくりから、しぜんがみえる
金井路子（ネイチャークラフトインストラクター）
三井郁弥（万華鏡作家）
コーディネーター
北川浩二（NPO法人ねおす）

※分科会3,4,5は翌日のショート体験準備のため19:00まで延長可能です

17:30～18:30 イブニングプログラム

- ・ニュースポーツ 従来のスポーツを簡単にした、初心者向けニュースポーツの体験企画。
- ・伝承遊び 昔ながらの遊びを楽しむ、日本文化の遊びが環境問題や子どもの心とどう結びつけられるか考えます。

19:00 全体会&ネットワーキングタイム

ゲスト：重政子（自然体験活動推進協議会 副代表理事）

▽2日目

6:00～7:00 モーニングプログラム

- ・アケボノほのほの雪上散歩 スノーシュー・歩くスキーどちらでもOK。エゾシカ遭遇率75%（！？）
- ・モーニングネイチャーゲーム！ 大雪の自然をネイチャーゲームを通して感じてみませんか？
- ・飛び入りプログラム 参加者の方からの飛び入りプログラム募集します！

9:00～11:00 プログラムショート体験

★のついた分科会（3,4,5,6）に参加したみなさんが、自分たちでプログラムを考えて、他の皆さんに披露します。あなたのワザを見せてください！！

11:00～12:00 全体まとめ

13:00 大雪青少年交流の家発
14:15 旭川駅
15:45 岩見沢SA
17:45 札幌駅北口

12:00 終了

13:00 バス出発

分科会の紹介

＜午前＞

1.どんとこい！ふりかえり～ふりかえりネタを探そう～
能條歩（北海道教育大学岩見沢校）

体験学習のまとめは、いわゆる"ふりかえり"という形で実施されます。
この場面でちょっとしたため知識を話題提供的に披露できると、参加者にとっても楽しく学ぶプログラムになります。この分科会は、皆さんが使っている、あるいは聞いたことのある"ウンチク"を互いに提供し合い、みんなでネタ帳作りをしようという企画です。ウンチクをお持ちの方、ぜひお集まりください！

2.動物たちのこと、伝えよう～その1 動物を知ろう
鈴木利典（洞爺湖たからだ自然体験ハウス）

身近にいる鳥や動物を素材に…と思っても、「名前がわからない」「種名を伝えるだけ」ということはありませんか？分科会その1では、参加者自身が見分けられるようになる活動や、その暮らしを疑似体験するアクティビティを紹介します。「こんな風に動物を素材にしている！」という例も、ぜひご紹介下さい。

＜午前・午後通し＞

★3.アドベンチャーアクティビティーデザイン
田中住幸（NPO法人あそベンチャースクール）
ゲスト：山田亮（北翔大学生涯学習システム学部
健康プランニング学科講師）

『一目あったその日から冒険のはじまる時もある。』
ということで、アイスブレイクやチームビルディングに主眼をおきつつ、数分～数十分間で気軽に挑戦できるアドベンチャーアクティビティー作りに挑戦します。体力系か！？と、敬遠しないでください。（体も使いますが…。）面白くも楽しく、粋で奥の深いアクティビティーの完成を目指します。出るか！？えぞCONE発の新アクティビティー。

★4.幼稚園や学校での環境教育♪
二杉寿志（(財)おたる自然の村公社）

自然に接する機会が失われつつある中、身近な自然とのふれあいを通して環境教育、環境学習ができる場の提供が求められています。よく考えると、子供たちが通っている幼稚園や学校には園庭や校庭があり自然もありますよね♪そこで何かできないか…
この分科会は、みなさんでプロジェクトワイルドやプロジェクトウエット、プロジェクトラーニングツリーなどの環境教育プログラムを楽しく体験し、総合学習や授業、PTA行事やイベントなど、幼稚園や学校での環境教育を考えてみましょう♪

※希望者はプロジェクトワイルド本編のエデュケーターを取得できます。（テキスト代2000円が別途必要です）

★のついた分科会（3,4,5,6）にご参加の方は、2日目のプログラムショート体験にて、ほかの分科会参加者の方を対象に、実際にプログラムを考え、披露していただきます。あなたのワザを見せてください！！

＜午後＞

★5.授業にも生かそう！自然体験
能條歩（北海道教育大学岩見沢校）

学校教育での自然体験学習のニーズが高まっています。理科や生活科、総合学習を中心に、近年では他の教科にも大きな影響を与えつつあります。この分科会では、先頃出版された「小学校の授業に生きるネイチャーゲーム」に掲載された多くの自然体験学習を実際に体験していただきます。そして、講師が小学校教科書執筆者の経験をふまえて、皆さんとともに考察を深めていきます。教員の方に限らず、興味のある方はぜひご参加ください。

※「日本ネイチャーゲーム協会著 小学校の授業に生きるネイチャーゲーム スタート編」をテキストとして使用します。お持ちの方はご持参ください。なお、会場でも販売します。

★6.動物たちのこと、伝えよう～その2 生き方を伝えよう
鈴木利典（洞爺湖たからだ自然体験ハウス）

こちらの分科会では、動物を題材にしたアクティビティを体験したあと、実際に会場の周りをフィールドにして、そこに生きる動物たちの「生き方」「暮らし」を伝える活動を考えていきます。動物園とは一味違った、自然の中だからこそできるプログラムを作りましょう。

★7.自然学校とは何だ？自然学校で生きてゆけるか？
高木晴光（NPO法人ねおす）

96年に「自然学校宣言」という、自然体験活動をもっとメジャーにしてゆこうというキャンペーンが（社）日本環境教育フォーラムを中心に開始されました。それから10年を経て、全国の自然学校は2000を越えるという調査報告が同フォーラムよりありました。ところが北海道は、自然体験観光のメッカとして脚光は浴びるものの、体験学習、また、地域と連携する活動としての「自然学校」があまり語られてこなかったように思います。そこで、改めて「自然学校とは？」を考えます。キーワードは、地域、交流、教育、体験活動、コミュニティビジネス、自然学校の経営とその理念です。「北海道版 自然学校宣言」ができれば・・・いいな。

★8.パウダースノーシューイング
片山貞実（国立大雪青少年交流の家）

「スノーシューをもっとアクティブに！」えぞCONEからの新提案です。一部の上級スキーヤーにしか味わえなかったパウダースノーの浮遊感をあなたに。今回は標高差300m、下りっぱなしのルートを設定。走ったり、転んだり、ジャンプしたり・・・、一度体験したらハマること間違いナシ！ネイチャー系？体育系？否！ハチャメチャ系です。

※防寒着（スキーウェア等）をご用意下さい。スノーシュー装備一式レンタルいたします。（レンタル料無料）

★9.ものづくりから、しぜんがみえる
金井路子（ネイチャークラフトインストラクター）
三井郁弥（万華鏡作家）
コーディネーター：北川浩二（NPO法人ねおす）

富良野在住で自然とクラフトを愛する金井路子さんと、美瑛で万華鏡ギャラリーを営む三井郁弥さんをゲストに迎え、実際に作品作りに挑戦します。ものづくりを通して自然の素晴らしさを伝えるってどうということなのでしょうか？そんなことを、皆さんで考えてみませんか？

※材料費の実費が別途必要となります